Solution of the state of the st

学報2018/3月号 Vol. **111**

围山南科大学学级



2017年11月2日、ヤクルト・岡林スカウトと握手する蔵本選手。

田

CONTENTS

<商大トピック>

大学

- ●ボウリング部全国アベック優勝
- ●大学生まちづくりチャレンジ事業

2017年11月6日、楽天イーグルス・梨田監督と握手する近藤選手。

- ●野球室内練習場、新剣道場、新卓球場完成
- ●倉敷考古館と協定を締結

<情報アラカルト>

- ●井尻昭夫学長、山陽新聞賞受賞
- ●農林水産省中国四国農政局と協定を締結

開学以来の快挙!本学学生から、ドラフト1位・3位指名によるプロ野球選

2017年10月26日に行われたプロ野球ドラフト会議において、岡山商科大学硬式野球部・近藤弘樹投手が東北楽天ゴール シイーグルスから1位指名、同・蔵本治孝投手が東京ヤクルトスワローズから3位指名を受け、プロ野球チームへの入団を果た

ら、入学後弛まぬ努力により急成長を遂げ、昨年来、注目を集めていた選手です。

蔵本選手は、経営学部商学科4年生で、兵庫県・神戸国際大学附属高校出身です。体格は身長185cm、体重96kg。右投げ右 打ち、最速151kmの速球を投げる投手です。高校時代にはベンチ入りの経験も無く、また、2年生の秋に、右肘の手術を受け、 厳しい1年間のリハビリを経ましたが、地道な努力が実を結び、4年生で急成長、完全復活を果たしました。 2人とチームメイトの活躍により、硬式野球部は2017年度春季リーグで、5年ぶりに全国大会への出場を果たしました。

プロ野球のドラフト会議の当日、全国から集まった報道機関はおよそ30社。2人が指名された瞬間には、学生会館2階に設け

られた記者会見場が揺れるような大きな歓声に続いて、盛大な拍手がわき起こりました。 記者会見で、近藤選手は「黒田博樹投手を目標として、一年目から活躍したい」、蔵本選手は「真っすぐな球がどれだけ通用す るのかプロの世界で挑戦したい」、とそれぞれ意気込みを語りました。インタビューの後は、野球部員が集まり、2人を胴上げで 祝福し、喜びを分かち合いました。





野球部員からの祝福を受ける2人

○ドラフト会議からの主な出来事

() アンド 公成がつの土の山木寺			
月日	出来事	関係選手	
10月26日	プロ野球ドラフト会議で楽天イーグルス1位指名・近藤弘樹選手、東京ヤクルト3位指名・蔵本治孝選手。本学学生会館2階で記者会見。	近藤·蔵本	
10月27日	楽天イーグルスの長島哲郎スカウト部長、山下勝巳スカウトが本学を訪れ、井尻昭夫学長、赤木貫人監督へ挨拶。	近藤	
11月2日	東京ヤクルトの橿渕聡スカウト部デスク、岡林洋一スカウトが本学を訪れ、井尻昭夫学長、赤木貫人監督へ挨拶。	蔵本	
11月6日	楽天イーグルスの梨田昌孝監督が本学を訪れ、井尻昭夫学長、赤木貫人監督へ挨拶。	近藤	
11月7日	倉敷マスカットスタジアムで行われている楽天イーグルス秋季キャンプを三宅博コーチらと近藤選手が見学。	近藤	
11月12日	岡山県出身で、楽天イーグルス副会長、星野仙一氏の野球殿堂入り祝賀会へ井尻昭夫学長、近藤選手ら本学関係者出席。	近藤	
11月15日	楽天イーグルスと近藤選手が契約合意、背番号「12」発表。契約金8.500万円、年俸1,500万円。(金額は推定)	近藤	
11月20日	東京ヤクルトと蔵本選手が仮契約、背番号「22」発表。契約金5,000万円、年俸800万円。(金額は推定)	蔵本	
11月22日	楽天イーグルスが新入団選手発表会見。	近藤	
12月7日	東京ヤクルトが新入団選手発表。	蔵本	
12月16日	「近藤弘樹選手・蔵本治孝選手プロ野球入団激励会」を開催。関係者約200名が集まり2人を激励。	近藤·蔵本	
1月5日	近藤選手が仙台の楽天イーグルス・犬鷲寮に入寮	近藤	
1月6日	蔵本選手が埼玉の東京ヤクルトの合宿所に入寮。	蔵本	

〇取材のあった報道機関(順不同、岡山商科大学調べ)

山陽新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、河北新報、中国新聞、中日新聞、時事通信、共同通信、スポーツニッポン、デイリースポーツ、東京スポーツ、日刊スポーツ、ベースボールマガジン、スポーツ報知、NHK、RSK、OHK、KSB、RNC、TSC

2人のプロ野球入団を祝う激励会を開催!

2017年12月16日、近藤弘樹選手と蔵本治孝選手のプロ野球入団を祝う激励会が岡山プラザホテルで開催されました。激 励会には、財界関係者、球団関係者、野球部OB、本学OB、教職員など約200名が参加し、2人のプロ野球入団を祝うと共に、今後 の活躍を期待し、激励を行いました。

始めに、赤木貫人監督のエスコートで近藤選手、蔵本選手が入場し、井尻昭夫学長が、来場者への御礼と「息の長い選手として 活躍して欲しい。」と述べました。岡山市副市長の佐々木正士郎氏から、「岡山にとってうれしいニュース。子ども達にも夢をあたえ る。」とご祝辞をいただきました。本学後援会長の川本洋氏は、お祝いと共に「卒業後も、大学を訪れ後輩たちと交流して欲しい。」 とご挨拶され、本学同窓会長の藤井大三郎氏からは、「私の夢は、日本シリーズで2人が投げ合うこと。夢を叶えて欲しい。」と乾杯 のご挨拶をいただきました。

硬式野球部OB会名誉会長の福有一郎氏は、スカウト2人に指名のお礼を述べられ、選手2人には「怪我をせずに頑張って欲し い。」と激励のお言葉がありました。

山下スカウトからは、「近藤君は、高校時代から知っていたが、大学4年間の成長には驚かされた。必ず活躍してくれると思う。 岡林スカウトからは、「蔵本君はイニングが進む毎に良い球を投げる選手。入団後は、ライバルを見つけて頑張って欲しい。」と、指名に至った経緯と選手に寄せる期待についてそれぞれご挨拶がありました。

その後、赤木監督から、「現役時代はプロ野球選手を夢見ていたが果たせなかった。その夢を2人が叶えてくれてうれしい。活躍 する姿をみんなに見せて欲しい。」、三宅コーチから、2人の育成秘話が話され、「新人賞を取って、いずれは球界を代表する選手に 成長して欲しい。」と期待が述べられました。

記念品贈呈に際し、大崎副学長から「全ての大学関係者、今日お集まりの皆様、またチームのファンの期待に応えるように頑 張って欲しい。」と挨拶がありました。髙林部長から閉会の挨拶として、「ご関係のあった全ての皆様に感謝したい。」とお礼の辞が述べられました。その他、野球部のBからのエールや学歌斉唱も飛び入りで行われるなどの盛り上がりも見せました。

来場者が会場を後にされる際には、近藤選手、蔵本選手が立礼し、和気藹々とした様子で写真撮影等に応じました。また、あわせ て2人のサインが並ぶ貴重なサイン色紙が一人ひとりに手渡されました。







(総務介画課)

近藤、蔵本選手プロ野球入団に寄せて

岡山商科大学硬式野球部創部以来52年で、プロ野球選手ドラフト会議において、1位近藤弘樹(楽天イーグルス)、3位蔵本治孝(ヤクルトスワローズ)上位指 名され晴れのプロ野球選手が誕生しました。今年のプロ野球セ・パリーグ戦での商大野球部OBが活躍する姿を見るのが楽しみになっています。 近藤投手は、2012年春季リーグ戦優勝した次の年に入ってきたメンバーで、本学の3月入試で合格、一か月後には春季リーグ戦で1年生デビューを果たしまし

その年の秋季リーグ戦以降4年間主戦投手として、通算29勝22敗、4年生では2017年度春季リーグ戦優勝、秋季リーグ戦は主将としてもチームを纏めまし た。そのことが評価され2017年度日本学生野球協会表彰選手(大学の部)としても表彰されました。

蔵本投手は、高校時代は実績のない(3年間ベンチ入りない)選手でありながら、大学ではもう一度投手として挑戦したいという意思が強く、1~2年生では短い ニングを投げ2勝を上げました。2年の秋季リーグ戦で右ひじに違和感を感じたことから、11月に右ひじの靭帯再建手術を受けました。その後1年間(3年生) は、リハビリ中心の中で、独特のフォームを作り上げる機会でもあり、本人は選手生活の中で一番つらくて耐えている姿がありました。この時期を乗り越え4年生 の春季リーグ戦優勝に貢献3勝2敗、秋季リーグ戦では3勝0敗、通算8勝5敗と復活を成し遂げました。

硬式野球部球史に残る2人の活躍で全日本大学野球選手権大会へも導いてくれました。

学生時代の2人は挫折を経験し、それをバネにプロの世界で今後大きく羽ばたき、野球ファンの応援に恥じないような活躍を皆さんと一緒に願っています。 「人の愛称を「近藤は"近ちゃん"蔵本は"蔵もん"」と呼んで頂き末永く誰からも好かれる選手になってほしいとも思っています。

平成30年1月19日 硬式野球部監督:赤木貫人、総監督:仁科昭宣、部長:髙林宏-

平成29年度を振り返ってみて

岡山商科大学・学長・井 尻 昭 夫

「光陰矢の如し」とはよくいったものです。本年は創立50周年記念事業の完成年度で、キャンパスリ ニューアル計画の下で、学内整備が完成しました。剣道場、卓球場の新設および、雨天練習場の新設 を行いました。また、マイクロバスおよび大型バスの新車を購入しました。これは学生諸君の活躍が活 性化するとともに新しい授業形態であるフィールドスタディが盛んに取り入れられてきたからです。この創 立50周年を境に、学生諸君の活躍には素晴らしいものがあります。



開学以来初めてボウリング部は NHK 杯を獲得するばかりか、同部は、つい最近、全日本大会で個人・団体、男女共に優勝す る快挙を達成しました。また、野球部は、春の大会で硬式野球部が神宮に行き、近畿大学を破り2回戦へ進んだことも大きな出 来事でありました。しかも、本学から楽天イーグルスに1位指名で近藤君、ヤクルトに3位指名で蔵本君の2人のプロ選手が誕生し ました。一つの大学から2名指名を受けることは全国的にも珍しく、中四国でのドラフト1位指名は初めてのことと言われています。 もちろん柔道部は中四国首位を維持しています。来春には、サッカー部およびバスケット部の活躍を楽しみにしています。

他方、勉学面では大学院進学は例年通りの成果を挙げ、本年度は東京大学、一橋大学、神戸大学へと延べ75名前後の学生が 進学しましたし、本年も日本一に輝くことでしょう。

学生諸君の文武両道において、ここに岡山商科大学ありと力強い成果を達成していただいていることに深く感謝する次第です。 学生諸君の活発な活動も、それなりの環境が整っておかなければなりません。文部科学省の私立大学等改革総合支援事業では 例年3テーマで整備資金を獲得してきましたが、本年は4テーマ、フルに確保することができるとともに、私立大学研究ブランディン グ事業についても採択されました。今後、本学の特色ある研究を基軸として、本学の独自色を大きく打ち出す取り組みを行っていき ます。こう言った取り組みが学生への教育にも還元されていき、昨年以上に、ますます素晴らしい大学環境の整備が実現されてい くことと確信しています。

大学の使命は有意な人材育成、「入れて育てる」姿勢で地域に根差す社会科学に特化した大学として、努力した1年でありました。 多くの方々に感謝とお礼を申し上げます。

ボウリング部 全国アベック優勝

2017.11.18-20

2017年11月18日(土)から20日(月)に京都のキョーイチボウル宇治で開催された文部 科学大臣杯第55回全日本大学ボウリング選手権大会において本学ボウリング部が史上4校目とな るアベック優勝という快挙を成し遂げました。

男子5人チーム、女子2人チームで競われる今大会は大学生の大会で最も名誉のある大会であり、 この大会で優勝を目指し日々、練習をしています。

男子は多くの選手が苦戦する難コンディションで予選 1 回戦 3 位とまずまずのスタートとなり、続 く2回戦で他大学がスコアを落としていく中、安定したスコアメイクを見せ、トップになりました。 その後も3回戦、準決勝、決勝とスコアを積み重ね初優勝を飾りました。

女子は昨年、初優勝を果たし、次は2連覇と意気込んでいた今大会では予選から決勝まで1度もトッ プを譲ることなく2連覇を果たしました。

56 回大会では男子 2 連覇、女子 3 連覇を目指すとともに大会記録を塗り替えるという意気込みを持ち日々の練習に励んでいます。



(学生課)

「野球室内練習場」・「(新)剣道場」・「(新)卓球場」

2017.11.10

硬式野球部は、6月に明治神宮球場で開催されました「第66回全日本大学野球選手 権大会 | に5年振り7度目の出場を果たしました。初戦では過去4度の優勝を誇る関西 学生の名門・近畿大学に勝利し全国に本学の名を轟かせてくれました。また、2 名のプロ 野球選手を輩出するなど大躍進の年となりました。その記念すべき年に、長年部員達が待 ち望んでいた室内練習場が完成しましたことは、部員達は勿論のこと野球部関係者にとり ましても大変大きな喜びであります。このことにより、全天候型の練習プログラムも組む ことが可能となり、引き続き活躍できる有望な選手が誕生することが期待されます。

(新) 剣道場は、公式試合の会場が2面取れる広さと、素足で踏み込んでも衝撃が吸 収される道場床が張り巡らされ、剣道専用道場としては近隣にはない立派な道場が完成い

たしました。4年前は4名の部員で第2学生会館4階の剣道場で稽古をしておりましたが、部員の増加に伴い、商大附属高校の旧空手道場、本 学体育館 1 階の旧空手道場と間借りをしながら稽古をしてまいりました。今後は環境も整い、部員も 24 名となり強化部として活躍が大いに期待さ れるところです。



(新) 卓球場は、配球に支障のないようにと壁面の色をブルーに統一するなどの工夫がなされ、空調には繊細な競技だけにエアコンも完備され、 本格的な練習をすることが可能となりました。このことにより中国地区の雄からさらに全国の雄へと躍進してくれるものと期待されております。

(学生課)



^{顕科学省 平成29年度 私立大学研究ブランディング事業(タイプA) 採択 |請採択テーマ「『寄り添い型研究』による地域価値の向上」}

従来、研究は個々の教員に依存するところが多く、文部科学省科学研究費の申請採択を 中心に教員の申請を推進していたが、平成28年度から表記の事業が開始され、大学として 先生方の研究を総合して、大学としての研究のブランディングをすることは、本学におけ る研究を特色づける取組みが可能であることから、申請を始め、平成29年度に表記の研究 テーマで申請し、3年間の研究期間と、地域の経済・社会、雇用、文化の発展に寄与する 研究(タイプA)として採択された。

この研究の基礎になっているのは、本学が約10年間で順次行ってきた岡山県内8市町村 との包括連携協定の締結により、各自治体との連携した教育研究活動である。これらの活 動を『寄り添い型研究』、即ち、地域で専門的な研究を進めると同時に、 「地域と同じ目 線」に立って、地域に於ける各種の取組みに、学生、教職員が積極的に参加協力するとい う「共同/協働研究」として全体を構成している。そして「寄り添い型研究」を通して、 「魅力あるまちの創造」に貢献する大学としてのブランドイメージ=「地域と呼吸する大 学」の認識度の浸透、確立をはかる。

そして、

っていることが多く

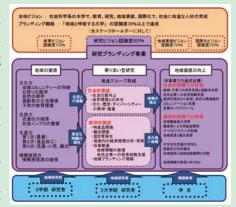
(武家はさておき)、

いわゆ

「三行半」のやりとりもありきたりだった。

すごく再婚率も高かったそうです。

外にも。



研究推進グループは、社会的側面の3研究テーマを3研究グループ、経済的側面の6研究テーマを11研究グループが全学からの26名 の教員により、研究対象地域を主として8市町村に設定し、研究課題、評価指標、達成目標を掲げて、3年間の研究を実施している。 なお、本研究の推進当たり、8市町村からの委員による「RB事業委員会」を設置し、実施、評価を行っている。

(副学長 大﨑紘一)

エッセ-数珠つなぎ

何気ない「選択」の積み重ねの先に

法学部法学科 助教 鬼頭祐紀

私が岡山商科大学法学部法学科に赴任して、もうすぐ1年が経とうとしております。「民法」という学問を研究する私にとって、「民法」という 語を創造された津田眞道先生の生誕地であるここ岡山で、若き学友たちとともに「民法」に向き合うことができたこの1年は、非常に刺激的で 有意義な時間となりました。「民法」縁の地で「民法」を学ぶに至ったことは、私の「運命」だったのかもしれません。しかし、今、振り返ってみる と、この「運命」は、私自身の何気ない「選択」の積み重ねがつくったものとも言えるかもしれません。

大学入学直後、直感で「選択」したゼミで出会った先生の勧めで、留学を意識し始め、数ある外国の中からゼミ旅行で訪れた韓国を「選択」し て、留学しました。留学中に、世界各国の友達との交流を通じ、自分の勉強不足を痛感しました。そこで、自分の専門分野を作るために「民法」 と真剣に向き合い始め、卒論執筆と大学院進学を「選択」しました。その後、大学院では、「比較アジア民事法研究」を推進されている先生との 出会いをきっかけに、先行研究がほとんど存在しない韓国民法の研究を本格的に開始することを「選択」し、以来、研究を推進してきました。そ して、昨年の冬、過去の研究成果を認めて頂き、岡山商科大学に採用されました。

直感でゼミを「選択」した日から今日まで、私は何気ない「選択」を積み重ねてきました。今後の人生でも、おそらく多くの「選択」を積み重ね ていくことになるかと思います。何が正しい「選択」なのか、その答えは私にはわかりません(もしかすると一生わからないかもしれません)。し かし、何気ない「選択」の積み重ねの先には、今があると同時に、未来があることも意識しながら、「選択」をすることができる人でありたいと思 います。

のです おおらかさを取り戻すほうが、 を感じたりする女性が多い現代。 あることが窺えます。 クしており、その時代の人々が実におおらかで 由闊達、奔放です。文学とその時代は深くリン 古い時代の良さという観点でなら、 文学的な観点から見ても、 古い時代ほど離婚率が低いというのは幻想な 離婚で肩身の狭い思いをしたり、 江戸期の文学は ずっと価値があ 生きにくさ

考えられています。私たちが抱いている離婚の の発想自体、 が貞淑で、 てしまったからにすぎない。 法以降の家制度が、 少なかった時代の風潮というのは、 た。実は現代以上にずっと離婚率が高かったと いうような印象を、私たちは抱きがちです。 江戸期には、 ところが、江戸期はそうではありませんでし 男性主導の力が強かったからだ、 男性中心的なものです。 夫婦は別姓、 女性の自由をとことん縛っ 女性も経済力を持 実は明治民 لے 問題ではないかと感じます

古き良き時代には離婚が少なく、

それは女性

ており、アメリカ並みの数値になるのも時間

離婚はもはやありふれた現象になってき

自分の周辺で漏れ聞く話だけ

といわれますが、 いうデータがあります。

現代の日本では、

三組に

一組が離婚に至ると

ア

メリカは

組に一組

|戸川乱歩賞作家 本学非常勤講師 (第十七期商学部卒 石

一般弘

江戸期

Asia Report アジアレポート

孔子学院便り 岡山商科大学孔子学院設立10周年記念式及び伝統芸術鑑賞会

孔子学院は、中国語教育の普及と中国文化に対する世界各国 の理解促進を目的として2004年より中国政府が行っている国家 プロジェクトで、中国側協定大学と現地大学などが共同運営する 形で中国語の教育や文化の発信に取り込んでいます。2017年 12月現在、既に世界146カ国(地域)525の孔子学院及び1,113 の中小学校孔子学堂が設置されています。

岡山商科大学孔子学院は2007年6月12日に設置が認可され、 同年11月25日に中国側協定大学である大連外国語大学と業務 提携協定調印式並びに開設式が執り行われました。国内では中四 国で初めての孔子学院となりました。

本年が設置から10周年にあたり、11月18日に岡山シンフォ ニーホールにて、岡山商科大学孔子学院設立十周年記念式及び 伝統芸術鑑賞会を開催いたしました。

中華人民共和国駐日本国大使館胡志平公使参事官、大森雅夫 岡山市長、岡山県日中友好協会景山貢明会長、岡山県日中懇話 会黒瀬定生会長、日本の他の大学の孔子学院及び孔子課堂の代 表の方をはじめ、孔子学院の受講生、岡山の中国語愛好家、一般 市民の方々にお越しいただきました。

岡山商科大学孔子学院の井尻昭夫理事長が開会挨拶をしまし た。孔子学院の設立の趣旨及び10年間の歩みを振り返り、関係者 の方々に感謝の意を表しました。中華人民共和国駐日本国大使

館胡志平公使参事官の挨拶では、岡山商科大学孔子学院がこの 10年間の業績について、特に中国語教育及び中国文化の伝達に おいて果たした役割と、中日友好のための努力を高く評価しまし た。そして、岡山商科大学孔子学院の今後の更なるご発展を祈念 し、祝賀の印とする記念品を贈呈しました。岡山市長大森雅夫様 からもご祝辞をいただきました。

孔子学院本部・中国国家漢弁馬箭飛副主任及び中国側協定校 の大連外国語大学劉宏学長、岡山商科大学孔子学院孫玉華副理 事長から祝電をいただきました。

岡山商科大学孔子学院設立10周年を祝うために、大連外国語 大学からの大学芸術団の記念公演が行われました。古筝、二胡、 笛などの民族楽器の演奏をはじめ、民族舞踊の披露もありまし た。心ゆくまで美しいメロディーを楽しみ、華やかな中国民族舞踊 を鑑賞し、より多角的に中国文化に触れ、中国への理解を深める 機会ともなりました。

岡山商科大学孔子学院の10周年記念行事は、中国伝統芸術鑑 賞会の盛り上がりとともに幕がおりましたが、孔子学院の歩みは、 新たな10年へと進もうとしています。今後とも引き続き中国語教 育、中国文化の紹介と日中交流に関する事業を行い、地域貢献、 国際相互理解に寄与することを目的とし、地道な努力を積み重 ね、草の根レベルで日中友好活動を続けていきます。



岡山商科大学井尻昭夫学長よりの



中華人民共和国駐日本国大使館 胡志平公使参事官よりのご挨拶



大森雅夫岡山市長よりのご挨拶



中国駐日本大使館より記念品贈呈



岡山商科大学孔子学院 蒲和重学院長よりのご挨拶



楽器合奏



中国舞踊



集合写真

「後楽園」と「岡山城」の見学実習 ~日本事情耳・課外授業学生感想文~

岡山城は歴史の変遷によって大きく変化した。今の私たち にとっては観光地だが、昔はたくさんの事件が発生した政治 の場所であったことが不思議な感じがする。後楽園もみんな の保護によって今の完璧な風景を保存できている。みんな力 を入れて至るところ全部をきれいにしている。このような保 護は大事なことだと思った。(杜春雪)

岡山城ではガイドの方の説明を聞き、昔の日本人の力と智 に感心した。戦争や災害で建物は失われたが、今の岡山城を 見て、昔の輝かしい姿が頭で想像できるようだ。後楽園も事 前にネットで写真などを見ていたが、やはり百聞は一見に如か ずという言葉通り自分自身の目で見ると最高だった。紅葉、 鯉、せせらぎ、青空に雲、園で結婚式を挙げる新郎新婦などき れいな絵のようだった。(易暁婷)

後楽園は300年の歴史があります。時代ごとの藩主の好み

や社会情勢によって景観は変化し、その積み重ねが歴史と なっています。私は後楽園の景観の変遷を通して日本の歴史 の理解を深めることができました。(黄天佳)

晩秋の後楽園は芝生はすべて枯れていましたが、かえって 秋の雰囲気を深めていました。園内を散策し、美しいもみじ を鑑賞すると確かに心地よいです。殿様が仕事の後、この園

の中でリラックスする場 面が想像できました。そ の名のとおりだと思いま した。春になったら桜が 満開になり、その中に立 つときっと見とれて動 けなくなると思います。 (胡雅鳳)



ミョャリア ロンタ

2019 卒学生の就活、 1 day インターンシップが定着化!!!

日本経済団体連合会が5日以上と定めていたインターン シップの日数規定を廃止したことにより2019年3月卒業予 定学生の就職活動で1日だけの1dayインターンシップが定 着しました。就職スケジュールでは3月から企業の会社説明 会が解禁。それ以前に学生との接触を望む企業がインター シップの名を借りて開催するもと言われています。本学学生 も3月を前に多くの学生が参加しました。また、リクナビ、マイナビ等の就職支援業者もインターシップ参加促進イベントを 開催するなど3月解禁を待たずして就職活動が始まった気配 を感じています。

2018年3月卒業生の就活振り返って

- ①3年生3月の就活解禁と同時に採用試験を実施する企業が さらに増えた。
- ②採用日程が短期化し学生の受験企業数が減少した。
- ③勤務地にこだわった学生が苦戦した。志望理由として勤務地 より仕事内容、会社内容を優先しなければ採用されない。
- ④会社説明会後に求められる履歴書・エントリーシートの提 出期間が短くなった。
- ⑤「売手市場」という言葉が浸透したことによって学生以上 に保護者のブランド企業志向が高まった。

2019年3月卒(3年生)対象就職ガイダンス予定表

2018年	第1回就職ガイダンス
6月20日(水)	【仕事ができそうな学生と思われたい!!】
2018年	第2回就職ガイダンス
10月3日(水)	【こんな会社でこんな風に仕事がしたい!!】
2018年	第3回就職ガイダンス
11月14日(水)	【エントリーシート&履歴書】
2018年	第4回就職ガイダンス
11月21日(水)	【個人面接&グループディスカッション】
2018年	第5回就職ガイダンス
11月28日(水)	【就活前に知っておきたいS P Iの基礎知識】
2018年	第6回就職ガイダンス
12月12日(水)	【リクルートスーツ&マナー】
2018年	第7回就職ガイダンス
12月19日(水)	【髪型&メイクで内定率アップ!】
2019年	第8回就職ガイダンス
1月9日(水)	【就職活動の戦い方を組み立てる!!】
2019年	第9回就職ガイダンス
2月6日(水)	【3/1、就活スタート。スタートダッシュに負けるな商大生!!】
2019年	第10回就職ガイダンス
2月20日(水)	【90分でわかる就職活動~合説の回り方~】
2019年	就活合宿~就活なんて恐くない~
2月20日(水)~ 21日(木)	グループディスカッション·集団面接対策



里庄町まこもたけ連携活動について

2017.10.2-30

里庄町は、7年前 より「まこもたけ」の 特産品化を進めてい る。まこもたけとは、 高さが2メートルほ どになるイネ科の植 物で、茎がタケノコ のように肥大化した



部分を指す。味はほんのりと甘みがあり、主に高 級中華料理の食材として流通している。町では 新たな生産者を増やす努力を試みているが、表 培から出荷まで全て手作業ということもあり、そ の輪が広がっていない。そこで、町は特に大変な 収穫期にこれを支援する大学生を派遣すること を企画した。これは、生産者の負担軽減と学生と の交流による生産意欲の向上、さらには販売に 向けた学生アイディアの活用をねらいとしたものである。町から学生派遣の要請を受けた本学 は、収穫期間である10月の1か月間、商学科を 中心とした18名の学生が毎日入れ替わりで2~ 5名ほど現地に赴き、収穫から出荷、並びに -での試供販売等の活動を手伝った。学生た ちにとっては慣れない農作業であったが、鎌を どこに入れるか等ブランド化に向けては一つひ とつの作業に細心の注意が必要ということが理 解できたようである。また町や生産者の方々からも感謝され、地域と呼吸する大学を標榜する 本学の地域への貢献を実現できたと思われる (商学科長 三好 宏)

Topic \angle

第4回「投資家と学生のための会社説明会」

2017 10 21

岡山商科大学では、 昨年10月21日 (土)の大学祭にて 第4回「投資家と学 生のための会社説 明会」と題した公開 R(インベスター・リ ーションズ)講演 会を開催しました



本学は、2008年以来、経営学部 商学科に ファイナンシャルプランニングコース(FPコース)を立ち上げ、実務に強い金融スペシャリストを育 成するべく、金融・経済教育に関連する異彩な取

成96、ハンル内は ボークランス 組みを行っています。 日本は欧米に比べ、投資家の中に占める個人 投資家の存在感が小さく、1,845兆円を超え る個人金融資産の構成も、株式や投資信託へ の投資が少なく(16.3%)、金融資産の過半数 (51.1%)が銀行等への預貯金に集中しています。投資にはリスクも伴いますが、許容できる 範囲で家計に眠っているお金を株式に投資する ことで、企業の成長を支援することやベンチャー 企業を育成することが可能となり、その結果、経 済活動が活性化され、私たちの暮らしを豊かに ーンを得ることができます。その する大きなリタ-ためにも、上場企業の現状と未来を知るための IR活動は、投資家にとって重要なイベントです。 昨年も、株式投資についての正しい知識と理

解を深めるため、東京証券取引所に上場してい る企業の中から、神戸のカルナバイオサイエン ス(株)代表取締役社長で薬学博士の吉野 公一郎氏、地元の(株)カワニシホールディングス代 表取締役社長で医学博士の前島 洋平氏(元岡 山大学教授)、大阪のアンジェス(株)の創業者で 医学博士の森下 竜一氏(岡山県総社市のご出 身、大阪大学大学院教授)等、バイオ・ヘルスケア マ、ハドス・イン・バス・ス・ハイ・ハング・ア 産業を代表する経営者を招き、ご講演いただき ました。会の冒頭では、長年 証券業界に関わってきた本学 社会総合研究所 客員教授の近藤 一仁(野村総合研究所、いちよし経済研究所、証券印刷大手の宝印刷等でアナリストに従事)が 「ヘルスケアのプロンティアpart2」と題したま 調講演も行いました。当日は、学外からも投資家 や学生等、約100名余の聴衆が熱心に聴講しま した。深謝いたします!!

(社会総合研究所 客員教授 近藤一仁)

Topic <u>3</u>

2017防災訓練について

2017.11.15

平成29年11月15 日(水)学生·教職員 すべてを対象とした 防災訓練を岡山市西 消防署様の協力の もと、実施いたしまし た。 講義中に地震・火



災が発生したとの想定から速やかに避難してもらいましたが、特に大きな混乱はありませんでし た。また、昨年度に続き今回も地震体験車を派 遣していただき、実際に地震を体験してもらいま した。東日本大震災と同様の震度を数名の学生 と職員が体験いたしました。体験した者だけではなく、見学者も予想を上回る揺れに大きな衝撃と恐怖を感じたようでした。岡山は比較的、地 震は少なく、安心されている方が多いように感じ ますが、実際に日本国内で発生したものであり、 南海トラフ巨大地震 | が30年以内に60%~ 70%の確率で発生すると言われています。人 ごとではないと、改めて感じたようで、皆真剣な 表情で、地震の揺れなどを体験・見学いたしました。大きな、災害が起こらないことを祈っていま すが、いつ発生するか分からない災害、日頃から 心構えしておかなければならないと強く感じた 防災訓練でありました。 (総務企画課)

岡山商工会議所 優良従業員表彰式

2017.11.21

平成29年11月21 日に、平成29年度岡 山商工会議所優良 従業員表彰式が開 催され、岡﨑彬会頭 から113人(59事 業所)が表彰されま した。これは同一事



業所において30年以上勤務された方が表彰さ れるもので、本学園からは法人事務局・藤原誠二 郎次長、本学からは会計課・奥田寿生課長補佐 の2名が表彰されました。 (総務介画課)

文部科学省 平成29年度 私立大学等改革総合支援事業 4タイプ 採択

「採択された4タイプ」

タイプ1「建学の精神を生かした大学教育の質向上」 タイプ3「産業界、国内の大学等と連携した教育研究」 タイプ2「特色を発揮し、地域の発展を重層的に支える大学づくり」 タイプ4「グローバル化への対応」

平成29年度は、上記4タイプに申請し、全て採択された。過去5年間でタイプ1、タイプ2、タイプ4の3タイプは、本学の教育、地域貢献、国際化対応の 活動により、設問への対応ができ、連続して採択されてきた。しかしタイプ3では、産学官連携活動については、産学官連携センターの活動として設問の 対応ができていたが、「他の国内大学との連携」に関する7設問に対する取組みが十分ではなかったために採択に至らなかった。そこで平成29年度は、 国内の大学間で実施している教育、研究活動について、大学間交流協定の締結、改定等の整備を行い、実績としてエビデンス化することによりタイプ3の 採択に至った。平成29年度に4タイプ採択大学は、本学を入れて6大学であり、採択校473大学の約1%程度の結果となっている。平成29年度からは、 複数大学によるプラットホーム形成(タイプ5)が新設され、本学の国内他大学との連携を更にもう一段上げて対応する状況になってきている。

(副学長 大﨑紘一)

荻野博司氏による学会学術講演会開催

岡山商科大学学術 講演会が2017年 12月8日(金)に開催され、「分断の時代 -日本が直面する厳 しい現実一」という 氏(元[朝日新聞]論



説副主幹、東洋学園大学教授)からご講演をい ただき、本学の教職員、学生は約180人がご来場いただき、本学の教職員、学生は約180人がご来場いただき、受講しました。ご講演では、少し学生向 きにお話しを頂きました。講演の内容はトランフ 大統領の出現をはじめ、英国のEU離脱、地球課 題の広がり、難民問題の重さ、エルサレムの問題 まで、世界各地で話題になっている新聞事件につ いて述べられた。これらの内容は心に響く講演で す。その後、学生からの質疑応答を受け、講演会 を終了しました。 (経営学部 准教授 陳 惠貞)

Торіс 🔘

大学生まちづくりチャレンジ事業・ 犯罪被害者支援講演会について

1月16日に本学 同17日に後楽館中 学にて、山本美也子 氏をお招きして、「思 いやりで社会を変え る。飲酒運転ゼロを 目指して!」と題して 犯罪被害者支援講



記手板 音 有 又 接 師 演会 を 開催しました。この 講演会はもともと 1 年 前、 犯罪被害者 支援サークルつぼみの 学生 が山 本氏の 講演を 聴いて深く感動し、「本学の 学生 や、多感な年頃の子にも 聴いてもらいたい」と考 えて、 学生主導で企画されたものでした。 県警や 地域の方々のご協力をお願いし、市から事業採 択を受け、ようやく実現させたものです。

16日は本学の学生と地域の方を対象に開催 され、複数のテレビ局や新聞社にも取材に来て いただけました。山本氏は、我が子を飲酒運転の車によって奪われた悲しみを湛えつつも笑顔を 絶やさずお話され、普通の人がついやってしまう 飲酒運転の怖さを説明されていました。また「明日が来るのは当たり前ではないから今日を大事 に」とのお話には、多くの人が心を揺さぶられた

に」とのお話には、多くの人かいを描さいられてと思います。
17日は、後楽館中学にて3年生を対象とし、 講演後は大学生と一緒に少人数のグループにわかれて話し合いをしました。中学生達も真剣に考えて積極的に意見を述べてくれました。 多くの人の心に残る講演会になったのはもちるん、半年以上暗中検索して開催にてき着けたので、

つぼみの学生達には得がたい経験となったので はないかと思います。

(法学部 准教授 加藤摩耶)

考古学を担当して(最終講義セレモニー)

2018 1 17

岡山商科大学には2011年度から2013年度ま で非常勤講師、2014年度から2017年度まで 特任教授として、計7 年間在籍。今年度末 での定年退職を迎 、担当科目(考古学 2科目、学芸員課程 必須科目8科目)の 中から「考古学Ⅱ」を



最終講義科目に選 び、1月17日(木)の3時限目に講義をさせてい ただきました。

大学時に考古学を専攻して卒業後、岡山県教 育委員会の発掘調査専門職員や県立博物館学 芸員等に従事し、おもに考古学を専門とする文 化財の保護保存・活用分野を担ってきました。岡 山県教育委員会を定年退職後は、本大学で学芸 員課程必須科目以外では考古学I(概論)を4年 間、考古学Ⅱ(地域考古学)を6年間教えることが できました。

できないに。 最後に、私が大学で学んだ学問を職業として本大学で教える機会をいただいたこと、さらに「考古学」の総まとめとして最終講義セレモニーの機会を与えて下さったことに対し、大学当局に衷心より感謝申し上げます。 (経営学部 特任教授 栁瀬昭彦)

0

おかやまテクノロジー展2018に出展して

当展示会は1月17、18日の2日間実施され、 172社・機関の参加があった中四国最大規模の 技術展です。電気・電子機器、切削・研削、表面処 12、10 年 20 年 20 年 20 日本 20 日 る空間でした。本会には、岡山大学を始めとする る宝自といた。本芸には、同山人子を知めとする 岡山県下の大学が参加。各大学のPR、相談を 受け付けるブースが設けられました。当研究所 からは、本学リサーチブランディング事業で開発 中のスタンプラリーアブリや大学パンフレットを 展示し、本学PRに努めました。出展の割合とし て、切削・研削、鋳造といった機械分野が最も多 電気・電子、ICTという順のようでした。私の 分野であるICT分野の出展は少ない事から、落 ち葉も枯れ木の賑わいと、私の研究しているソ ョンも並べられるようになれれば、と想 いを募らせました。

(経営学部 准教授 箕輪弘嗣)



岡山県大学図書館協議会 平成29年度 研修会を開催しました。

2018年2月5日 (月)13時より、学生会 館2階地域交流室に て松山大学図書館学 教授の早瀬均(はや せひとし)氏を講師と して招き「図書館と防 災対策~サービス継



続性確保の観点から~』と題して講演会を実施し ました

実施にあたり、本学図書館は平成29年度から2年間研修会幹事校を仰せつかっておます。 講演会の開催に関して昨年の6月より他大学の 5名の委員と計5回の委員会で計画して開催に

至りました。参加者は17大学合計21名となり ました

講演会では先ず、本学副学長・図書館長の大 﨑紘一先生に開催のご挨拶を頂き開式しまし た。講演者の早瀬氏は、資料により東日本大震 災・熊本大分地震・阪神大震災による大学図書館 に関する被害や影響の事例を話されました。 山県は、自然災害が少ないことで有名だからこ そ、油断せず図書館の防災に努めなければなら ないとのことで締めくくられました。

講演会の後、質疑応答、そして本学図書館の 見学を行い、17時30分に終了しました。

(図書課 藤岡彰)

倉敷考古館と包括協定を締結

日、岡山商科大学 は、公益財団法人倉 敷考古館との間で、 包括的相互連携に関 する協定の調印を行 いました。これは、同



館の諸活動に、本学が保有する人的資産を活か すとともに、本学の教育研究活動に同館が協力 し、相互連携を通じて協働による博物館活動の 高度化とその推進を図ることを目的としていま す。具体的には、同館蔵資料の整理·研究·展示並 びに社会教育活動の発展に関する事、学生によ る古代吉備文化の理解の向上・支援に関する事、 観光研究のフィールドとしての調査研究・活用発信に関する事などを予定しています。

岡山商科大学では、博物館学芸員課程を設置 ており、毎年、県内を中心に複数の博物館で 実習を行っておりますが、同館との連携により、 さらに学びの場が広がることが期待されます。

調印式の中で、同館理事長·大原謙一郎氏は、 倉敷考古館で古代から続く歴史的な遺産の美 ルコスターロロトロールが一つが、と歴史的は遺性の美しさを感じて欲しい。その背景の学術的な意味も知って欲しい。」と挨拶され、井尻学長から、「社会学の知識だけで無く、歴史的資料にも触れる。思かれ、井奈恵も、ました。 心豊かな人材育成をしたい。」と述べました。

(総務企画課)

Topic

大学院の進学状況について

2018.3.1

2017年度も多くの学生が有力国公私立大学の大学院に合格しております。この数年間、経済学系大学院の進学率は全国1位(朝日新聞出 版「大学ランキング」調べ)を本学が記録してお ります。大学院の前期入試が一段落した2017 年末現在、40名が延べで64大学院に、主だったところでは東京大3名、一橋大3名、神戸大 17名、大阪大12名、早稲田2名が合格しており ます。年が明けて後期試験が始まっており、さら に合格者は増える見通しです。その大きな原動力が経済学部で開講されている「特別演習」(ア ドヴァンスト・クラス)です。これは高度な経済学の習得を目指す学生のためのもので、この科目 の受講生のために本学では特別に自習室を設け、毎日多くの学生がいそしんでおります。院試以外でも、経済学検定(ERE)ミクロ・マクロでは 多くの学生がS判定(偏差値73以上、上位1%)を取り、2017年12月に実施された検定では 本学学生が全国1位を取っております。 (経済学部 学部長補佐 山下賢二

山陽印刷株式会社

Information ル

井尻学長 第76回山陽新聞賞受賞

情

去る1月11日(木)、井尻学長が栄えある山陽新聞賞を受賞されました。

今回の受賞は、9人、2団体でしたが、教育功労の井尻学長が受賞者を代表し、「喜びとともに「今後も頑張 れ』と勇気を与えていただいた。これからも、こつこつと取り組んでいきたい。」と謝辞を述べられました。

報

学長は、1988年に本学の副学長に就任されたが、大学のルーツは祖父が設立した「閑谷学校」の分校に あり、閑谷の孔子の教えは今もなお本学の建学の精神に受け継がれていることを常に誇りとされてきまし た。その建学の精神を踏まえて、これまで一貫して、社会に役立つ実学を身に付けた、即戦力の人材育成に まい進してこられ、今では多くの卒業生が、地域の経済界はもちろん、政治や行政の中心で幅広く活躍して いるところです。



今回の受賞は、30年にわたり一心不乱に教育の推進に取り組んできた功労が認められたもので、学長は、自ら目指した方向性に間違いはなかったと 喜んでおられます。今後も、「入れて育て、磨いて送り出す」を基本として、優秀な人材の養成に取り組んでいきたいと決意を新たにされています。

また、650大学が加盟する日本私立大学協会の常務理事を10年務められていることから、日本の私学関係者からは、今後の私学教育振興のため、手 腕を発揮されることに大きな期待が寄せられています。

農林水産省中国四国農政局と包括協定を締結

平成30年1月30日に、本学では、農林水産省中国四国農政局と包括的連携協定を締結しました。

農林水産省では、国の新たな政策「農泊(日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流 を楽しむ農山漁村滞在型旅行)」の推進を行っており、地域所得の向上や観光客、インバウンド、移住者の増加な どを目指しています。本学には、経営学部商学科において観光やマーケティング分野についての教育・研究の素 地があり、また、特にインバウンドについては、中国や韓国など、アジアからの留学生を多く受け入れていること から、本学と連携することで、国と大学による実践モデルを構築することが可能となります。

本学としては、地域に有為な人材を育成するために地域連携活動を積極的に取り組むことを基本方針として

おり、その趣旨に合致することから、「農泊」を中心とした事業の実施にあたり、包括的連携協定を締結する運びとなりました。

調印式では、農林水産省中国四国農政局局長の坂井康宏氏から、中四国エリアを訪れる外国人観光客の増加についての期待が述べられ、本学学長 から、留学生に日本の地域を知ってもらえる機会となる、との挨拶がありました。調印式には、坂井局長の他、中国四国農政局の関係者6名のご出席をい ただき、本学に寄せられる期待の大きさが感じられました。

包括協定を受けた「農泊モニターツアー」は平成30年2月22日(木)~23日(金)に開催され、本学の留学生9名、日本人学生3名が参加しました。 (産学官連携センター)

学位記授与式· 入学式のご案内

学位記授与式

2018年3月22日(木) 10時00分~

入学宣誓式

2018年4月3日(火) 10時00分~

※いずれも体育館

(総務企画課)

卒業記念パーティーのご案内

今年度卒業生を対象にした「卒業記念パーティー」を以下のとおり開催します。

h

1. 日時: 2018年3月22日(木)、12時30分~

2. 場所: 学生会館1.2階

3. 会費: 無料

当日は、ささやかではありますが食事や卒業生の門出をお祝いする企画を用意してお 待ちしています。学生生活の最終日、お世話になった先生方と名残を惜しんでいただけ れば幸いです。 (学友会)

慶應MCC 夕学講座 2018年度前期 開催予定

●開催時間 18:30~20:30(開場18:00)

場 岡山商科大学 地域交流談話室(学生会館2階)

●受 講 料 パスポート券(15回)10,000円 受講券(1回)1,200円

4月12日(木) <人間の力を信じる>

横田 南嶺 (よこた なんれい)

「人生を照らす禅の言葉」

4月20日(金) <変革期の経営と働き方>

有沢 正人 (ありさわ まさと) カゴメ株式会社 執行役員CHO

「100年企業の人事大改革~グローバル企業へ の飛躍に必要な人事制度とは~」

4月25日(水) <この人に聞く>

内山 聖子 (うちやま さとこ) テレビ朝日ドクターX ~外科医大門未知子~』シリーズ ゼネラルプロデューサー

「失敗しないドラマ創り」

4月26日(木) <この人に聞く>

羽生 善治 (はぶ よしはる) 将棋棋士 阿刀田高 (あとうだ たかし) 作家

「AI時代の人間の行方」

・本講演は羽生氏の講演60分 対談60分(質疑応答15分含む) の構成です。

5月8日(火) <人間の力を信じる>

石川 善樹 (いしかわ よしき)

予防医学研究者、(株) Campus for H 共同創業者

「人生100年時代のセルフマネジメントとは何か?」

5月9日 (7K) <テクノロジーが変える社会システム>

落合 陽一 (おちあい よういち)

筑波大学准教授・学長補佐、 ピクシーダストテクノロジーズ(株) 代表取締役社長

「超AI時代の生き方・働き方・考え方」

5月25日(金) <人間の力を信じる>

秋山仁 (あきやま じん)

東京理科大学 理数教育研究センター長・教授 「今日からあなたはMathe-magician」

5月31日(木) <変革期の経営と働き方>

木村 尚敬 (きむら なおのり)

株式会社経営共創基盤(IGPI) パートナー、IGPI上海執行董事

「これからのリーダーシップのあり方~ダークサ イド・スキルを身につけろ~」

6月6日(水) <人間の力を信じる>

茂木 健一郎 (もぎ けんいちろう) 脳科学者、ソニーコンピュータサイエンス研究所 シニアリサーチャー

前野 隆司 (まえの たかし) 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授

「幸福学と脳科学の文脈で語り合う平成30年」

※本講演は対談を含む講演90分・質疑応答30分の構成です

6月21日(木) <地球と人間の歴史>

飯間 浩明 (いいま ひろあき) 国語辞典編纂者、「三省堂国語辞典」編集委員 「国語辞典から現代日本語が見えてくる」

6月29日(金) <「新しい経済」を考える>

西野 亮廣 (にしの あきひろ)

「貯信時代のお金の作り方、使い方」

7月3日(火) <テクノロジーが変える社会システム>

琴坂 将広 (ことさか まさひろ)

慶應義塾大学総合政策学部 准教授

「テクノロジーが変えた経営戦略:進化を振り返 り、未来を考えるし

7月6日(金) <「新しい経済」を考える>

白井 さゆり (しらい さゆり)

慶應義塾大学総合政策学部 教授

「東京五輪後の日本経済」

7月12日(木) <テクノロジーが変える社会システム>

スプツニ子! (すぶつにこ!) アーティスト、東京大学特任准教授

「問いを立てるデザイン」

7月24日(火) <「新しい経済」を考える>

飯田 泰之 (いいだ やすゆき) 明治大学政治経済学部 准教授

「日本経済の近未来」

■お問合せ先

岡山商科大学社会総合研究所 〒700-8601 岡山市北区津島京町2-10-1 TEL 086-256-6656(直通) FAX 086-252-0642(代表)

岡山商工会議所 夕学講座担当 〒700-8556 岡山市北区厚生町3-1-15 TEL 086-232-2262

(社会総合研究所)